

展開案（2 / 3 時目）＜小学校＞

- ◆本時のねらい：「強み」に着目した交流活動を通して、自分や友達の「強み」を見付け、「強み」の生かし方を考えることができるようにする。
- ◆本時のめあて：自分や友達の「強み」を生かそう。
- ◆本時の展開（※）については、授業者がスライドに加筆したり授業者自身の言葉で思いを伝えたりして、スムーズな活動につなげたり、学習への理解を深めたりすることもできます）
- * ワークシートや振り返りシート等をまとめるもの（ファイル等）を準備します。
- * 4人グループには4色（赤、青、黄、緑）のシール（1色当たり 1人4枚×学級の人数）を準備します。5人グループには、更に追加の1色（桃）のシール（16枚×グループの数）を準備します。

学習活動	ｽﾀｯﾌ	指導上の留意点
(授業前)	1	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に「授業前アンケート」を書かせておくことにより、児童の負担感を減らす。また、交流活動が円滑に進むようにアンケートの記述を確認し、内容によっては個別に言葉掛けをしておく。 ・交流活動ができる座席配置にしておく。 ・授業前に前時のワークシートと振り返りシートをまとめたもの（ファイル等）を返却し、自分の「強み」や学習を通じた気付き等を思い出すことができるようにする。
1 前時の活動を振り返る。 (1分30秒)	2・3	<ul style="list-style-type: none"> ・「強み」の定義や自分の「強み」、学習を通じた気付きなどを思い出させることにより、本時のめあてや交流活動につなげることができるようにする。
2 本時のめあてを知る。 (1分)	4	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてを板書して、確認したり振り返ったりすることができるようにする。 ・「強み」を見付ける活動と「強み」の生かし方を考える活動のことを伝えることにより、活動の見通しをもつことができるようにする。
3 「星☆いくつ」の交流活動（4人*）を行う。 (13分30秒)	5	<ul style="list-style-type: none"> ・座席ごとにシールの色を指定することにより、スムーズに活動を進めることができるようにする。
(1) グループの友達に当てはまるものを4つ選んでシールを貼る。 活動①	6	<ul style="list-style-type: none"> ※ 授業者自身に関する「星☆いくつ」を作成して「星☆いくつ」の方法を伝えると同時に、教師が自己開示をすることにより、児童の自己開示を促す。 ・自己肯定感が低い児童でも安心して活動できるように、まず、友達に当てはまるものを見付ける活動から入り、その後、自分に当てはまるものを考えさせるようにする。 ・交流活動がスムーズに進むように、活動時間を知らせながら時計回りにワークシートを回すように指示をする。

<p>(2) 自分に当てはまるものを4つ選んでシールを貼る。活動②</p> <p>(3) 自分の「強み」だと思うものを3つ選び丸印を付ける。活動③</p> <p>4 「ステップ アップ ウェビング」の交流活動（4人*）を行う。（22分）</p> <p>(1) 自分が苦手なことや困っていることの中で、解決したいと思っていることを1つ書く。活動①</p> <p>(2) 友達が解決したいと思っていることを解決するためのアイデアを書く。活動②</p> <p>(3) 友達のアイデアを参考にして、これからやってみみたいことや頑張ってみみたいことを書く。活動③</p> <p>(4) 自分が解決するために頑張りたいことを伝え合う。活動④</p> <p>5 本時の活動を振り返る。</p>	<p>7</p> <p>8</p> <p>9</p> <p>10</p> <p>11~16</p> <p>17~19</p> <p>20</p> <p>21</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・期待感をもたせるために、3人目まで終了したら、ワークシートを裏返しにして、教師の合図で本人に渡すようにする。 ※ 児童の活動の様子や教師が気付いたことなどを肯定的にフィードバックすることにより、温かい雰囲気づくりにつなげる。 ・友達がシールを貼ったワークシートに目を通した後に、自分に当てはまるものにシールを貼るように指示する。 ・シールが多いものや自分がシールを貼ったものを選ぶのではなく、改めて、自分の「強み」と思うものを選ぶ活動を設けることにより、自己決定を促し、次の交流活動につなげやすくする。 ・ワークシートにそれぞれの「強み」のキーワードも示しておくことにより、選びやすくしたり、次の交流活動で転記しやすくしたりする。 ※ 授業者自身に関する「ステップ アップ ウェビング」を作成して「ステップ アップ ウェビング」の方法を伝えると同時に、教師が自己開示をすることにより、児童の自己開示を促す。 ・「星☆いくつ」の交流活動で選んだ「強み」を生かす活動を行うことを伝えることにより、活動に取り組む意欲を高めるようにする。 ・事前に書かせていた「授業前アンケート」から転記させることにより、負担感を減らし活動を円滑に進めやすくする。 ・前時の交流活動と活動の方法が似ていることを伝えることにより、抵抗なく取り組むことができるようにする。 ・アイデアを考える際のポイントを例示することにより、アイデアを考えて書くことへの見通しをもちやすくする。 ・友達にアイデアを書いてもらったワークシートに目を通す時間を設けることにより、自分の「強み」が生かせそうなことに気付くことができるようにする。 ・友達のアイデアを参考にしながら自分が頑張りたいことを自己決定させることにより、自分の「強み」の生かし方を考えることができるようにする。 ・伝え方の話型を示したり「話をきくときの約束」を確認したりすることにより、安心して伝え合うことができるようにする。 ・自分の「強み」を生かして頑張りたいことを伝え合うことにより、自分や友達の「強み」を生かしてみたいという意欲を高めることができるようにする。 ・本時のめあてと活動を確認することにより、学習した内容を具体
---	--	---

<p>(6分)</p> <p>(1) 振り返りシートに記述する。</p> <p>(2) 全体で気づきを伝え合う。</p> <p>6 次時の活動を知る。(1分)</p>	<p>的に振り返ることができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気付いたことや感じたことを全体で発表する場を設けることにより、自己理解や他者理解を深めることができるようにする。 <p>※ 授業全体を通じた児童の活動の様子や教師が気付いたことなどを肯定的にフィードバックしたり、学級や児童の実態に応じて学習内容を具体的に意味付けたりすることにより、学習の効果を高めることができるようにする。</p> <p>22</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次の時間も「強み」について学習することを伝え、興味や関心を継続できるようにする。 ・「強み」に着目した交流活動に意欲的に参加をした自分や友達に拍手をするなど、互いのことを思いやる気持ちを称えて、温かい雰囲気ですべての授業を終わる。
--	--

◆評価の視点：「強み」に着目した交流活動を通して、自分や友達の「強み」を見付け、「強み」の生かし方を考えることができたか。

◆板書計画

めあて：自分や友達の「強み」を生かさう

話をきくときの 約束

- ・話し手を見て
- ・関心をもって
- ・最後まで きく

「強み」って 何だろう？

考え方、行動、からだ など
自分に あるもの
自分が もっているもの

「強み」のポイント

プラスに思えることだけでなく
マイナスに思えることもふくめて
「強み」と考える

星☆いくつ 活動①: 友達にあってはまるもの(4つ)
活動②: 自分にあてはまるもの(4つ)
活動③: 自分の「強み」だと思えるもの(3つ)

ステップアップウェビング 活動①

苦手なことや困っていることで、解決したいと思っていることを1つ書こう

みんなの前で発表することがはずかしい
できるよになりたいな
解決したいな

ステップアップウェビング 活動②

苦手なことや困っていることを解決するための アイデアを考えるポイント

- 自分のやり方や先生や家族に教えてもらったやり方
- 今、思いついたアイデア
- その友達の「強み」を生かす
- しているアイデアや、関係のあるアイデアはつなげる

ステップアップウェビング 活動③

友達が苦手なことや困っていることを解決するためのアイデア

あいさつのように大きな声で言ってみる

みんなの前で発表することがはずかしい
みんなに「強み」を伝えてほしいな
みんなは、あいさつ名人だから...

【ふり返り】

- ・児童の発言

活動④ 伝え合い

いつでも確認できるように、「話をきくときの約束」「強み」の考え方、「強み」のポイントを掲示しておきます。

活動の流れが一目で分かるように、活動名とワークシートを拡大したものを提示します。

振り返りを全体で共有するために、児童の発言を板書(・)します。

◆授業前の取り扱い

- * 交流活動におけるグループの人数は4人編成が望ましいが、4人にならない場合は、5人グループを編成する。その場合、ワークシートを回して行う活動では、指示通りに活動を進めて、3人回したところで終了する。
- ・グループを意図的に構成し、児童の心理的な負担を減らすように配慮する。
- ・ワークシートや振り返りシートに、教師が気付いたことや感じたことを書いて肯定的なフィードバック

クをする。

- ・児童が学習を振り返ることができるようにするため、ワークシートや振り返りシート、学級通信等をファイル等にまとめて、児童に配付する。
- ・(例) 授業前や導入において、構成的グループエンカウンターを行うことにより、親和的な雰囲気づくりが期待できる。

◆授業後の取組例

- ・学級通信等で学習活動や児童の感想を紹介し、家庭でも言葉掛けをしていただくようにする。
- ・教師がワークシートに目を通した後に、教室に掲示する。
- ・教室に「強み」コーナーを設けて、見つけた友達の「強み」をカードに書いて貼らせ、学級全体で共有できるようにする。
- ・学年集会や学年掲示板で紹介する。
- ・行事と関連させる。